

山形市 ウォーキングマップ

コース 距離：約3,300m 時間：約60分 カロリー：約160Kcal 歩数：約4,200歩



世界かんがい施設遺産山形五堰「笹堰」をめぐる

スタート

1 会田算左衛門安明銅像

山形出身の江戸時代の和算家。和算（日本独自の数学）「最上流」を立ち上げました。



2 小荷駄町公園

市立図書館に隣接する公園です。地域住民の憩いの場になっています。



3 六小東通りせせらぎ水路と親水空間

子供たちが自然に親むために作られた親水空間です。水は笹堰から取水しています。



4 六榎観音

慈覚大師円仁が当地を訪れた際、六本のクヌギの木を植栽して現在と未来の二世安楽を祈り入魂したことから「六榎（むつくぬぎ）」と命名したといわれています。



5 旧町名標示柱「六榎町」

その昔、ここが「六榎町（むつくぬぎまち）」と呼ばれていたことを示す標示柱です。本来「榎」という字は「さわら」と読み、クヌギとはまた別の木ですが、なぜこの読みが広まったかは謎とされています。



6 六榎八幡宮

社伝によると、昔あった6本のクヌギの木「むつくぬぎ」は、「陸奥の苦を抜く」に通じるとも言われました。鎮守の森の幸せを呼ぶ石をぜひご体験ください。



ゴール 8 世界かんがい施設遺産登録記念横断幕

笹堰を含む山形五堰が世界かんがい遺産に選ばれた記念の横断幕です。



7 子安観音堂

建立は1684年。安産成就、子孫繁栄、子育祈願、水子成仏の霊驗あらたかなお堂です。



山形市街地を網の目のように東から西に流れている総延長 115 kmの山形五堰。2023年には「世界かんがい施設遺産」に指定されました。五堰のうち笹堰は最も長く 47.5 km。堰の流れとともにゆったりとめぐってみましょう。